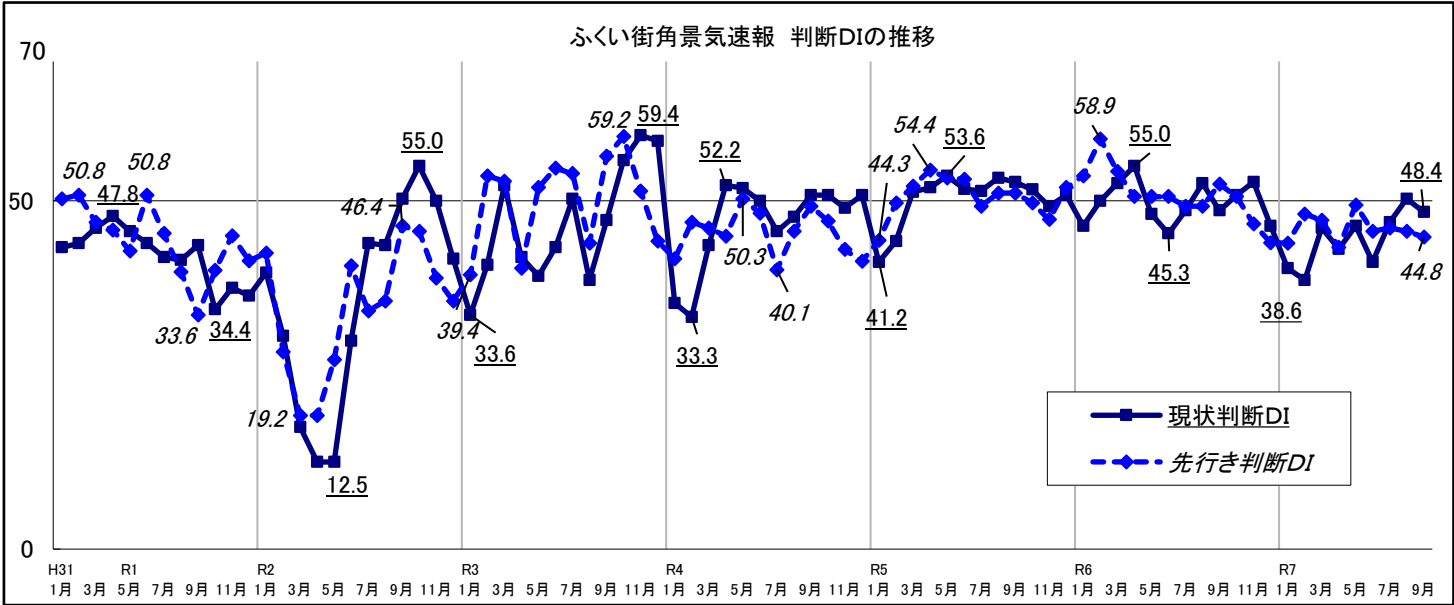


ふくい街角景気速報

(令和7年9月分)

調査期間 令和7年9月18日～25日 (回答率：91%)

概 況	
景気の現状判断DIは48.4となり、前月と比べ1.9ポイント低下した。	
景気の先行き判断DIは44.8となり、前月と比べ0.8ポイント低下した。	
■景気の現状判断DI	48.4 (前月比 ▲1.9)
○家計動向関連では、前月に比べ 0.5 ポイント低下した。	
○企業動向関連では、前月に比べ 4.6 ポイント低下した。	
○雇用関連では、前月に比べ 0.2 ポイント低下した。	
(意見の主な内容)	
○新米の価格が非常に高くなっており、米の販売は前年を大きく下回っている。	
それに伴って、節約志向から食品全般の販売も落ちている状況。(スーパー)	
○分野によっては好転が見られるようになってきたものの、引き続き市場の停滞感もあり、全体では厳しい状況。(繊維関連)	
■景気の先行き判断DI	44.8 (前月比 ▲0.8)
○家計動向関連では、前月に比べ 1.2 ポイント上昇した。	
○企業動向関連では、前月に比べ 5.6 ポイント低下した。	
○雇用関連では、前月に比べ 4.8 ポイント上昇した。	
(意見の主な内容)	
○10月にも祭やイベントが目白押しで、観光シーズンを迎えるので期待している。(商店街)	
○米価格の上昇と最低賃金UPの一部を、売価に転嫁予定のため、一定の買い渋りを覚悟している。(コンビニエンスストア)	
○販売単価の引上げは実現するものの、価格転嫁以上に原価や人件費などが上昇しているため、利益ベースでは悪化傾向の企業が多い。米国の関税政策に対する懸念も残っており、厳しい状況が続くものとみている。(銀行等金融関連)	



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断D I	2 P
2. 景気の先行き判断D I	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1)調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数					
地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2)調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3)調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

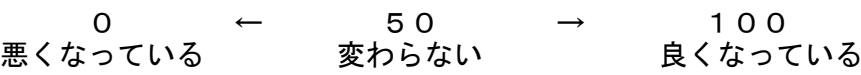
3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。



1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R7 4	5	6	7	8	9	(前月差)
合計		43.1	46.4	41.2	46.9	50.3	48.4	▲1.9
家計動向関連		38.3	42.6	37.0	45.3	48.4	47.9	▲0.5
小売		38.4	40.0	37.5	44.5	41.7	44.2	+2.5
飲食		25.0	45.8	25.0	45.0	70.8	54.2	▲16.6
サービス		43.8	47.7	41.7	47.7	54.5	54.2	▲0.3
企業動向関連		47.1	50.0	43.4	48.5	52.3	47.7	▲4.6
製造業		44.8	47.9	42.7	46.7	52.2	45.8	▲6.4
非製造業		52.5	56.3	45.0	52.5	52.5	53.1	+0.6
雇用関連		50.0	52.3	52.3	50.0	52.5	52.3	▲0.2

○回答別構成比

	年 月	R7 4	5	6	7	8	9	(前月差)
良くなっている		1.1%	1.1%	1.1%	2.2%	2.2%	2.2%	+0.0
やや良くなっている		14.4%	21.1%	9.9%	15.6%	18.9%	14.3%	▲4.6
変わらない		47.8%	43.3%	48.4%	55.6%	57.8%	60.4%	+2.6
やや悪くなっている		28.9%	31.1%	34.1%	21.1%	20.0%	20.9%	+0.9
悪くなっている		7.8%	3.3%	6.6%	5.6%	1.1%	2.2%	+1.1

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R7 4	5	6	7	8	9	(前月差)
合計		43.3	49.4	45.6	46.1	45.6	44.8	▲0.8
家計動向関連		40.6	46.3	46.2	46.4	44.1	45.3	+1.2
小売		41.1	44.2	44.6	45.3	42.5	45.8	+3.3
飲食		40.0	41.7	54.2	55.0	41.7	37.5	▲4.2
サービス		39.6	54.5	45.8	45.5	50.0	47.9	▲2.1
企業動向関連		46.3	51.6	44.9	46.2	47.0	41.4	▲5.6
製造業		44.8	51.0	43.8	43.5	47.8	39.6	▲8.2
非製造業		50.0	53.1	47.5	52.5	45.0	46.9	+1.9
雇用関連		45.5	56.8	45.5	44.4	47.5	52.3	+4.8

○回答別構成比

	年 月	R7 4	5	6	7	8	9	(前月差)
良くなる		1.1%	2.2%	2.2%	4.4%	1.1%	0.0%	▲1.1
やや良くなる		16.7%	20.0%	16.5%	11.1%	11.1%	19.8%	+8.7
変わらない		43.3%	53.3%	48.4%	54.4%	61.1%	46.2%	▲14.9
やや悪くなる		32.2%	22.2%	27.5%	24.4%	22.2%	27.4%	+5.2
悪くなる		6.7%	2.2%	5.5%	5.6%	4.4%	6.6%	+2.2

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	企業 動向	嶺南	食料品製造関連	3か月前と比較すると9月は繁忙期に入ってきているため、売上高は伸びている。
②やや良くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	8～9月はコロナ感染者が出ていたが、秋の奉納祭やイベントが復活し需要が増加した。
		福井	コンビニエンスストア	客単価が伸びている。
		嶺南	飲食関連	天候が荒れず(台風や大雨など)、今年はイベント開催も、夏の海も良かったように思う。それらのイベントに訪れた人たちが当店へ来てくれている。
	企業 動向	嶺南	その他製造関連	公共事業の発注増。
③変わらない	家計 動向	嶺南	一般小売店	物価が高くなり、消費者は価格に対してかなり厳しくなっている。
		福井	百貨店、SC等	まだまだ暑さが続き、SALE品を中心に売れた。秋物はまだ購買意欲が湧かず、単価も低く苦戦している。
		福井	百貨店、SC等	物価高騰などの影響はいまだ変わらない。
		奥越	飲食関連	人手不足で休む日があったりするため。
		福井	サービス業関連	経常利益は前年同等である。
		福井	観光関係	変化を感じない。
	企業 動向	坂井	繊維関連	分野によっては好転が見られるようになってきたものの、引き続き市場の停滞感もあり、全体では厳しい状況。
		福井	一般機械関連	北米市場は盛況だったが、関税案件で一時的に下向きになり停滞した。
		丹南	電気機械関連	ビジネスの季節性もあり、受注がピークに達しているため。
		丹南	電気機械関連	日用品の値上がり等は大変ではあるが、気持ち的には諦めにも似た慣れの部分もあり、大きな変化がない状況と感じている。
		福井	化学・プラスチック関連	売上・販売数量の推移に顕著な動きがないため。
		嶺南	商社	個人消費の回復が鈍い。
		福井	銀行等金融関連	インバウンドの回復により、観光業など一部では改善傾向がみられる。一方で、その他大半の業種においては物価高や人件費高騰に悩まされている状況。
		丹南	建設・不動産関連	受注残はあるが、売り上げは横ばいのため。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	企業訪問等すると、依然、物価高・金利高の影響もあり厳しいとの声をよく聞く。しかし域内の融資状況においては、件数、融資額、いずれも昨年を上回るなど、市内企業の前向きな事業活動が推察できる。
		嶺南	労働相談員	3か月前からの件数や内容から大きな変化が見られないため景気は変わらないと判断する。
④やや悪くなっている	家計 動向	丹南	商店街	8月に引き続き来店客数・売上は低迷したままで、特に9月は対前年同月比が大きくマイナスとなる予測だから。
		坂井	スーパー	新米の価格が非常に高くなっており、米の販売は前年を大きく下回っている。それに伴って、節約志向から食品全般の販売も落ちている状況。
		坂井	観光物産関係	大阪万博の閉幕が近くなり、そちらに行く人が多いのか9月は商品の動きが悪いため。
		嶺南	飲食関連	変わらないように見えて、ガソリン代が上がったりと生活用品の値上げが止まらず、利益を出すことがどんどん難しくなっている。
		福井	観光関係	夏休み期間が終わるころから人流が減少していると思われる。ビジネスでの利用は堅調であるが観光客が減少。県内客についても飲食中心であるが減少している。
	企業 動向	福井	商社	円安と原油高騰から石油製品価格が値上がりしている。価格転嫁が遅れている。
	雇用	丹南	労働相談員	残業等、金銭的相談が増加している。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなる	家計動向	嶺南	商店街	10月にも祭やイベントが目白押しで、観光シーズンを迎えるので期待している。
		福井	一般小売店	秋需要増を期待して売出企画を打ち出す計画である。
		坂井	観光物産関係	3ヵ月後は年末年始になるので、商品が今よりも動くかと期待している。
		坂井	観光関係	行楽オンシーズンに入るため。
		福井	観光関係	秋の行楽シーズン、カニのシーズンに向けて予約は順調に推移している。団体は若干動きが鈍いが飲食、会合は順調。
	企業動向	福井	一般機械関連	関税案件は一応の方向性が示されたので、再度上がってくる予想。
		福井	銀行等金融関連	自民党新総裁が決まった後、野党との連携が進み、物価高対策が速やかに実施される場合には、消費動向にプラスの影響が期待される。
③変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	ファッショントレンドがいまだ浮上しないが、ラグジュアリーのファッションは悪くない。ファストファッションか高額かの2極化のため当店は厳しい。
		丹南	百貨店、SC等	物価高や燃料高に加え米の価格高騰等もあり、更に猛暑や豪雨等も生活環境に影響を与えている。現時点では、節約志向や消費行動に消極的な状況を覆せる要素は見当たらない。総理が変わり新たな内閣が誕生するが、せめて年末商戦に向けて何か期待を持たせてくれるようなことをしてもらいたい。
		奥越	観光物産関係	材料(資材)などの値上がりが多くて困っている。
	企業動向	福井	眼鏡関連	良くなる兆しが見えない。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、輸出向けで欧州等多くの地域の景気減速と在庫調整による受注減少がしばらく続く見通し。
		丹南	電気機械関連	ビジネスの季節性で、例年、受注・売上が減少する時期に入っていく一方で、米国の大統領の動きが、世界情勢や景気に不透明感を与えることを懸念しているため。
		福井	化学・プラスチック関連	大きい仕事の話がなかなか聞こえないため。
		福井	建設・不動産関連	現在が概ね堅調であるので持続するものと思われる。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	企業訪問を行い、トランプ関税の影響等について確認すると、大きく受けている企業は少ないが、実際はどう影響がでるか把握できない企業がほとんどで、今後の影響が出ていないか注視する必要がある。
		福井	ジョブカフェ担当者	求人数について、前年同月比減が2年以上続いている。求職者も減少傾向にあるため、有効求人倍率の維持につながっている。この傾向は当面続くとみられ、2～3ヵ月先も求人が求職を大きく上回る状況と思われる。
④やや悪くなる	家計動向	福井	百貨店、SC等	周辺の競合店による影響が出ている。さらに、米も高くなり節約志向は変わらないので、今後も苦戦すると思われる。
		福井	百貨店、SC等	外的要因として最低賃金が上がる事で、中小企業は価格転嫁が難しく、結果利益を圧迫するから。
		嶺南	スーパー	高い物は売れない。買い控えが多くなる。
		福井	コンビニエンスストア	米価格の上昇と最低賃金UPの一部を、売価に転嫁予定のため、一定の買い渋りを覚悟している。
	企業動向	奥越	繊維関連	経済環境が混沌としているため。
		丹南	電気機械関連	石破首相の退陣により国内政治の不確実性が高まっているが、景気等が好転するような期待が持ちづらいため。
		福井	銀行等金融関連	販売単価の引き上げは実現するものの、価格転嫁以上に原価や人件費などが上昇しているため、利益ベースでは悪化傾向の企業が多い。米国の関税政策に対する懸念も残っており、厳しい状況が続くものとみている。
		丹南	建設・不動産関連	閑散期に入っていくため。
⑤悪くなる	家計動向	福井	飲食関連	最低賃金の上昇からの原価高騰で、県内飲食店は今後3年間で大量に廃業が出るだろう。
	企業動向	嶺南	食料品製造関連	仕入材料の値上げが予想されているため。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長・従業員	2
観光物産関係		
	売場責任者	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブステーション担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、
あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。

今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、
悪くなっていると思いますか。

次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、
今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。

次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)